



## 世田谷区発達障害相談・療育センター(通称げんき)

# 3年目を迎えて

世田谷区発達障害相談・療育センター センター長職務代行 斎藤 厚子



「げんき」(世田谷区発達障害相談・療育センター)は開設3年目を迎えました。これまでの2年間の活動のなかで、発達障害に関する相談が年齢、内容ともさらに多様化してきていることを強く感じています。今後もご家庭や地域の関係機関とともに、それぞれの方の状況に応じて必要なときに必要な支援をしていきたいと思っています。今年度は新たに、出前相談として「げんき」から地域に出向き、直接発達障害に関わるニーズを伺う機会も設けます。

これからも職員それぞれの専門性を活かしつつ、世田谷区の拠点施設として地域に根ざした活動をしていきたいと考えています。お子さんの発達や育ちが気になる時、どうぞ「げんき」にご相談ください。

## どんな相談が多いですか?

発達についての心配  
幼稚園、保育所、学校などの関係の持ち方  
友だちとの関係  
学習の遅れ  
不登校、引きこもりについて  
家庭生活について  
就労について

## 今年度は?

新規事業としては、  
\*理解啓発を目的に、区民向けに  
こちらから出向く「出前ミニ講座」  
\*家庭支援の一環として、親御さん  
の「交流コーナーの活用」  
があります。  
人材育成研修や関係機関への巡回支  
援、講演会、家族支援講座などの事業  
もさらに充実させて、地域との繋がりも深めています。  
Gpressやホームページも是非ご活  
用ください。

## どのくらいの方が 利用されましたか?

平成22年度  
相談件数 1140件  
(電話相談・来所相談)  
療育人数 417人  
でした。

## 世田谷区発達障害 相談・療育センター って どんなところ?

発達障害のある方、またはその疑いのある方、  
その家族、関係者を対象としています。

また、世田谷区の発達障害に対する支援を推進するための  
中核的な拠点施設として関係機関への支援や、広く区民の皆様に、  
発達障害について理解してもらうための活動をしています。

世田谷区在住の発達障害児者、またはその疑いのある方を対象としています  
まずはお電話ください ☎ 03-5727-2236 (相談専用番号)

## センター診療所長 就任にあたつて

山崎 晃資



今年の4月に世田谷区発達障害相談・療育

センター診療所長に就任しました。このセンター  
は区在住の発達障害の方たちにとって重要な  
な療育相談機関であることから、その責任の重  
さを感じています。

私は、医師として昭和四十年から四十五年  
間、それこそ発達障害についてどう向き合つて  
いか手探りだった時から関わってきました。  
その経験を活かしていくとともに、今回伺うこ  
とになって改めて思うことは、療育も相談も子  
どもたちのためにしていることを忘れてはな  
らないということです。

このセンターには、臨床心理士、臨床発達心  
理士をはじめとする多くの専門家がそろつて  
いますが、発達障害の診断に求められる慎重さ  
を認識しつつ、相談や療育にみえるご本人やご  
家族に対して謙虚な気持ちを忘れず、より一層  
の研鑽を積んでいってほしいと思っています。

そのためのお手伝いもしていきたいと思って  
います。  
私が今まで接してきた多くの発達障害のお  
子さんや親御さんから学んだこと、得たことは  
とても大きく、この貴重な経験をさせてください  
ましたことには少しでも恩返ししていければと思  
っています。

私が今まで接してきた多くの発達障害のお  
子さんや親御さんから学んだこと、得たことは  
とても大きく、この貴重な経験をさせてください  
ましたことには少しでも恩返ししていければと思  
っています。

## トウレット症候群とは?① ?教えて発達障害のこと チック症状について ○シリーズ○

(当センター  
療育相談担当医師)



この新コラムでは、専門の方々から発達障害について  
わかりやすく解説していただきます。今回のシリーズの  
「トウレット症候群」はチックを主症状とした小児期に  
発症する疾病であり、発達障害者支援法に定める発達障  
害のひとつです。4回にわたって特集します。

チックとは無意識に出てしまう突然の繰り返され  
る動きや身振り、発声で、1回のチックは1秒も続  
かないことがほとんどです。チックは運動チックと  
音声チックの2種類に区別され、運動チックはま  
ばたき、首振り、肩すくめなどの単純な突然の動き  
から、表情や手や頭を使った身振りなどあたかも自  
動的を持つた行動に見える複雑な動きまで、幅広い行  
動を含みます。音声チックは、咳払いからもつと複  
雑な発声であつたり発言であつたりし、重症な例で  
は汚言(みだらなあるいは社会的に受け入れられ  
ない内容の話)といわれる音声チックが出現するこ  
ともあります。

チックは小児期に一過性にみられることがほとん  
どですが、中には1年以上続いて、運動チック、音声  
チックと両方が出現する疾患があり、それがトウレ  
ット症候群と名付けられています。100人に1人  
程度にみられる稀でない疾患だと考えられています。  
が、一般にはあまりよく知られていません。  
となど知つていれば安心して対応できます。

本人や周囲はその症状に驚いてとまいますが、  
良くなつたり悪くなつたりを繰り返す特有の経過、  
症状がかなり目立つ時には薬物療法が有效であるこ  
となど知つていれば安心して対応できます。

## センターよりのおしらせ

### 平成23年度の予定

#### 啓発事業

8月20日(土) 講演会

9月10日(土) 施設開放日(施設見学、内容説明等)

#### 家族支援事業

9月~12月 家族向け連続講習会(全5回)(予定)

11月下旬~24年1月下旬 子育て体験懇話会(予定)

## 講演会のおしらせ

『発達障害理解のための講演会』

『発達障害のある子どもの育ちと子育てについて(仮題)』

【日時】8月20日(土)13:30~15:30

【場所】成城ホール

当センターでは発達障害理解のため、「発達障害ってなん  
う?」「地域の支援ってなんう?」(平成21年度)、「発  
達障害児の保護者への理解と支援」「発達障害のある当事者から  
聞く」(今号P2・3で特集)(平成22年度)をテーマに順次開催  
してきました。平成23年度第1回として上記の講演会を予定  
しております。講演内容にご興味のある方はどなたでもご参加  
いただけます。

【申込】8月15日までに、電話[03-5727-2237] (申込受付専  
用)にお申し込みください。

【問い合わせ】世田谷区発達障害相談・療育センター

## 世田谷区発達障害相談・療育センター

### 開所日時

月~土曜日 (祝日及び年末年始を除く)  
午前9時~午後6時

### 利用方法

利用は予約制です。利用を希望される方は、直接『世田谷  
区発達障害相談・療育センター“げんき”』へお電話にてお  
申し込みください。

〒156-0074 世田谷区大蔵2-10-18

大蔵二丁目複合型子ども支援センター2・3階

TEL 03-5727-2235 (代表)

03-5727-2236 (相談専用)

FAX 03-5727-2238

URL <http://www.ryo-iku.jp>

### ACCESS



2011年3月9日

## 北沢タウンホールにて「発達障害理解のための講演会」を開催しました

当センターでは『発達障害理解のための講演会』を開催しています。今回は世田谷区でも長年発達障害者支援を行ってきた石井哲夫(社会福祉法人嬉泉常務理事・東京都発達障害者支援センター長)が、成人の発達障害のある当事者2名との鼎談を行いました。発達障害があるとはどういうことか、発達障害のある人への必要な支援とは何かについてお話し頂いた内容の一部をご紹介します。

# 発達障害のある当事者から聞く

自閉症の人の生きにくさと社会における支援についてわかってほしいこと

主催:世田谷区発達障害相談・療育センター 後援:世田谷区、社会福祉法人嬉泉



### 【自分の特性に気がついたのは‥‥】

コミュニケーションのこととか友達とか勉強とか、他の兄弟に比べて自分はできなかつたのでなんか違うなと感じていました。大学の相談室で自閉症かADHDじゃないかと言われ調べているうちにオウム返しとかコミュニケーションの難しさとか当てはまると思ってました。

### 【いじめ‥‥】

自分のできないことで1対1で責められることが多かったです。初めは心配かけたくないと思って言わなかつたんですけども、後から先生にどんどん言つてもいいよと言われてから、声をかけるようになりました。

司会より: 人に言われて悩んでいる状態は、外側からわからない。非常におとなしくて、弱々しくて、返事をしなくてもっと元気になれとか、積極的になれと(周囲の人は)言うけれども、「自分としてはこれで精一杯やっているんだ」ということをわかってもらいたいということですね。

Aさん  
20代男性。大学卒業後、ディケアを経て地域の就労支援機関で就労支援を受けてきた。現在は高機能自閉症があることをオープンにした障害者雇用で清掃等の仕事に従事。

### 【わかってほしいことは‥‥】

自分をストレスのはけ口として言った側はすっきりして忘れても、言われた私はストレスがたまって、実は暴れてもおかしくなつたし、情緒不安定になつたりもしました。私の弱いところだけを指摘するのは社会的にもなんか不公平だなあと感じました。配慮してもらいたい点は、注意するときはやさしく声をかけてほしいとか、注意するだけではなく、自分の生きにくさを、言いたいことがなかなか言えないっていう、つらかったことを共感してもらえると非常にありがたいと思っております。

\* 仕事場で同じ様な考え方の人に 대해서理解が持てず対していました。今回の話を聞くことで、もう少しわかつてあげられたらと感じました。

\* 漢然としていた発達障害の当事者の生きづらさが少しあわかつた。石井氏の社会の側の問題なのだと言われた言葉がその通りだと思った。

\* 事業場で同じ様な考え方の人に 대해서理解が持てず対していました。今回の話を聞くことで、もう少しわかつてあげられたらと感じました。

### 【職場では‥‥】

自分のコミュニケーションの難しさをわかってくれ、当然雑談とか苦手なんですがほとんど言われることがないです。オープンにしてよかったです。

### 【家族や周囲との関係は‥‥】

これまで波風をたてないよう姉のご機嫌をうかがつたり、父や母に対しても怒られたりしないように注意して生活していたと思います。いじめっ子の近くには近寄らないようにしていました。

Bさん  
40代男性。大学卒業後、いくつかの仕事を経て、3年前医療機関を受診。アスペルガー症候群と診断を受ける。現在は障害者雇用で設備管理等の仕事に従事。

### 【人との付き合いは‥‥】

不特定多数の人たちとずっと人間関係を保っていくということだけが苦手なのであって、それほど人數が多くなければ難しいことではないと思っています。

### 【アンバランスさ‥‥】

できることとできないとの差が激しい感じがします。型にはまつることはできますが、臨機応変は苦手で、例えば参考書を見たり細かく聞いてからでないと安心して作業が進められないことが多いです。でもとにかくできるようになるまで時間をいただきたい。

### 【将来は‥‥】

きちんと人と変わらない仕事をしながらの生活を保つことが大切であつて、これからを考えるこころの余裕がまだありません。将来もう少し広い部屋で生活できるよう目標を掲げているところです。

### 【仕事について‥‥】

普通の人にない注意力、集中力というプラスの面を利用して、ミスや間違いをちゃんと見逃さずにチェックする仕事を頼みますよと、私のことを信用してくださるようになるといいなと思っています。

司会より: (自分が得意な)型にはまつた仕事だけではなく、(苦手なことでも)時間をかけてでも自分で考えてやれるようにしていきたいということですね。

## 会場の声

### 鼎談を終えて・・

Aさんから: 今日は皆さんに対してどういうふうに言えばいいのかと、結構悩んでいたりしましたが、自信はないんですけど、多少なりとも言えたかなあと思います。

Bさんから: 自分は何を考えながら生活していたのか、どういうふうに仕事に取り組もうか、生活していこうか、声に出して言っているうちに、少しずつ方向性がみえてきた感じがします。

司会(石井哲夫)から: 障害や能力の有無、仕事ができるとかできないとかで人を見ることが、当事者のAさんを人間不信に、Bさんを人との接触を避けるという状況にしていたのだと思います。それでもこの二人は今それぞれの職場等で苦労しながらも働き、経験を自分の中にちゃんと取り入れ、行き詰ることがあってもそれを乗り越えられるよう自分を育ててこられたことに私は大変敬服しています。

話す努力をすることいろいろなことを考えるようになったとお二人もおっしゃっています。私も言葉の力を教えられました。当事者が言い足りないことを補う当事者性を、この世田谷区発達障害相談・療育センターでもすすめていってもらいたいと思います。お二方には大変長い時間お話し頂きました。一生懸命お話し頂いたことを心から感謝します。

